

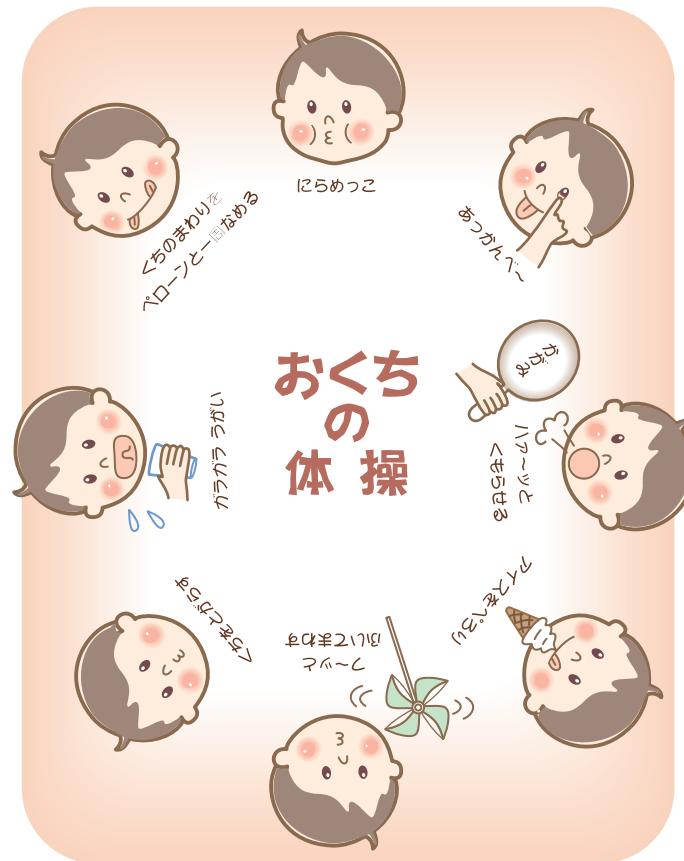
発音の発達

発音の獲得時期には個人差があり、7~8歳くらいまでかかって正しい発音ができるようになる子どももいます。時期に差があっても自然に獲得する場合が多いのです。

発音の発達は、母音（アイウエオ）様の音から始まります。まずパ・バ・マ行などの唇を使う音ができるようになり、そのうちにカ行、タ行、ラ行、サ行などの難しい音が少しずつできるようになります。

発達の順序や時期には個人差もあるので、4歳くらいまでは慌てずに様子をみても良いでしょう。

おくちの体操



言語聴覚士がお手伝いします

ことばの遅れ
聴覚障害
構音(発音)障害
吃音
失語症
高次脳機能障害
音声障害
摂食・嚥下障害
など



『話す・聞く・食べる』ことに
問題がある方やご家族の支援をいたします

一般社団法人
福岡県言語聴覚士会
お問合せ
E-mail
fukuoka_st_730@yahoo.co.jp
またはホームページより
福岡県言語聴覚士会

発音のこと

子ども編



●気になることチェックリスト●

- 決まった音が言えなかったり、赤ちゃんことばが残っているように感じる
例:『さかな』が『ちゃかな』になる
『とけい』が『とてい』になる
- 友だちに発音のことでからかわれたことがあり、本人も気にしている
- うまく噛めないなど、食べたり飲んだりすることがあまり上手ではない

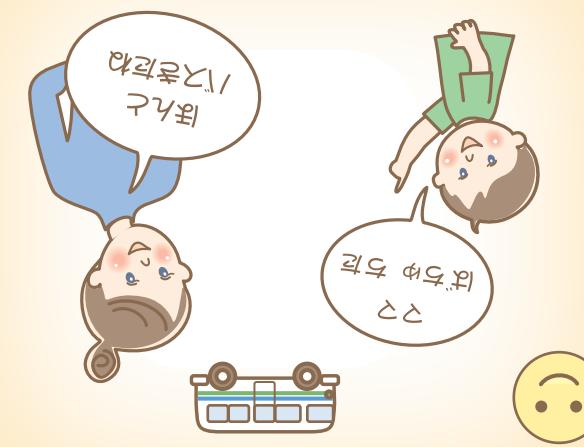
※ 1. 装置の訓練
道具を握りながら、手筋を確認しながら装置の構造を理解する。
2. 口器訓練
口器訓練の際は、器具を握りながら、器具の構造を理解する。
3. 音響訓練
音響訓練の際は、器具を握りながら、器具の構造を理解する。

※ 1. 装置の訓練
道具を握りながら、手筋を確認する。
2. 口器訓練
器具を握りながら、器具の構造を理解する。
3. 音響訓練
器具を握りながら、器具の構造を理解する。



装置の訓練

A. 예술 활동을 위한 장치 활용법



B. 예술 활동을 위한 장치 활용법

1. 呼吸運動
器具を握りながら、器具の構造を理解する。
2. 口器運動
器具を握りながら、器具の構造を理解する。
3. 音響運動
器具を握りながら、器具の構造を理解する。

家庭での練習

가정부제

● 예술 활동을 위한 장치 활용법은 예술 활동에 대한 관심과 흥미를 유발하는 데 목적이 있다.

예술 활동의 학습력 향상

● 예술 활동을 통해 예술 활동에 대한 관심과 흥미를 유발하는 데 목적이 있다.

부모의 지원

● 예술 활동을 통해 예술 활동에 대한 관심과 흥미를 유발하는 데 목적이 있다.

● 원인으로 예술 활동에 대한 관심과 흥미를 유발하는 데 목적이 있다.

● 예술 활동을 통해 예술 활동에 대한 관심과 흥미를 유발하는 데 목적이 있다.

● 예술 활동을 통해 예술 활동에 대한 관심과 흥미를 유발하는 데 목적이 있다.

装置の実践